



SHOESHINE GRAND PRIX
2025

ルール&審査項目について(SOLO部門)
-Rules & Examination items of SOLO SECTION-

磨く靴や道具

後述の詳細をご参照ください

制限時間
(磨く時間)

1st Round: 片足の場合10分間・両足の場合20分間
Final Round: 20分間

審査方法
審査員

①テクニカルポイント②プレゼンテーションポイント③アディショナルポイント
④エクストラポイントの合計点にて勝敗を決める
審査員は大会本部が選出したテクニカル審査員とプレゼンテーション審査員が行う

競技の流れ

磨く靴の確認→テーマの発表→使用する道具選び→磨き→*プレゼンテーションタイム

*プレゼンテーション
タイムとは

磨き後に各選手に対して設けられる60秒間の説明タイム。
内容は基本自由ですが
「磨いた靴についての説明」「誰(どんな方)に向けての磨きか」
「磨きにおいて何をポイントにしたか」
の3要素は必ず盛り込んでください

運営側で
準備する
モノ

項目	詳細
使用する靴	同ブランド&同モデル&同素材&同カラーの新品のシューズ (*1st Roundの1回戦のみサイズ差や左右差が生じます)
クリーム等の磨き に使用する用品	大会認定用品 (乳化性クリーム、ワックス、クリーナーなど別紙参照)
磨き台	W900×H1100×D450の磨き台を1台ずつ準備はするが磨くスタイルは自由

選手が
持ち込み
可能なモノ

ブラシ	個数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたもの。乾燥した状態に限る)
クロス	枚数及び素材は自由 (禁止事項: 予め溶剤や水分等を含ませたもの。乾燥した状態に限る)
その他	磨き椅子、ハンドラップ、水など必要なモノ (禁止事項: 電源を要するモノ、火気厳禁のモノ、自身の磨きスペースを越えるモノ)

	テクニカルポイント (靴磨きの基本的な技術)	+	プレゼンテーション ポイント (靴磨きを通じた表現力)	+	アディショナル ポイント (審査員特別点)	+	エクストラ ポイント (調整点)
審査員	テクニカルポイント 審査員		プレゼンテーション ポイント 審査員		テクニカルポイント プレゼンテーション ポイント 審査員		テクニカル ポイント審査員
審査観点と点数算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ①コンディショニング ②光沢 ③グラデーション ④完成度 ⑤表現力 <p>審査員の得点を合算し、 人数で等分して点数を算出する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ①ワクワク感 ②説得力 (性) <p>審査員の得点を合算し、 人数で等分して点数を算出する</p>		<p>審査項目では測れない 審査員を唸らせたポイント があった際に入る加点項目</p> <p>審査員の得点を合算し、 人数で等分して点数を算出する</p>		<p>シューズコンディ ションポイント</p> <p>磨く前の靴の状態を チェックし、状態に 応じて加点する</p>
配点	75点		20点		*加点対象 最大3点		*加点対象 最大2点

テクニカルポイント （靴磨きの基本的な技術）

靴磨き職人として求められる基本的な技術の項目

コンディショニング	①コンディショニングカ	ブラッシング、汚れ落としやクリームの塗布を含め、革の状態に合わせて的確かつ十分に保革を行っているか	10点
光沢	②光沢&透明度	光沢の強さ・透明感のある仕上がり	25点
グラデーション	③グラデーション	グラデーションのメリハリ、継ぎ目にムラがない美しい磨きか否か	20点
完成度	④磨いた靴の完成度	左右差やほこり、ゴミ、磨きムラ、ソールの汚れ、紐の捻れなど、仕上がりの完成度	10点
表現力	⑤テーマに対しての表現力	与えられたテーマに対し、磨きを通じた表現力	10点
加点対象 *審査員特別点	*審査員判断	審査項目では測れない審査員を唸らせたポイントがあった際に入る加点項目（ ブラインド審査のみ を活用） （観点例：磨きの仕上がりのバランス、新たな磨きへのチャレンジなど）	最大3点

プレゼンテーションポイント
（靴磨きを通じた表現力）

靴磨き職人としての魅力を高める表現力

審査の方向性

プレゼンテーション審査は
靴磨きの技術面だけではない靴磨きとそれに関する表現力を審査する
（=人の魅力、個性を複合的に審査する）

ワクワク感

磨いている姿やスタイル、所作等にワクワクして、
またこの人に磨いてもらいたいと思うか
（プレゼンテーションタイム*でパフォーマンスも含む）

説得力（性）

プレゼンテーションタイム*で今回の磨きのポイントや魅力を
わかりやすく説明できたかどうか
また、その内容と磨きに整合性がついているか

各10点
合計20点

加点対象
*審査員特別点

*審査員判断

審査項目では測れない審査員を唸らせたポイントがあった際
に入る加点項目（**磨く姿及び磨いた靴を見て審査**）
（観点例：所作、磨きの仕上がりのバランス、新たな磨きへのチャレンジなど）

最大3点